こころのバリアフリーとは

しょうがいのある人が暮らしにくいのは、まちに４つのバリア（カベ、じゃまになるもの）があるからだと言われています。

物理的なバリア　道路、建物の中などで利用者が移動するときにじゃまになるバリア。たとえば、車いすを使う人には、駅の階段がバリアになります。

法令・制度的なバリア　しょうがいのある人という理由で、本人の能力とは関係なく、入学、就職、資格取得などのチャンスが与えられないなどのバリアがあります。

文化・情報面のバリア　視覚、聴覚あるいは知的にしょうがいのある人にとっては、安全で自立した生活を送るのに必要な情報が伝わらないことがあります。

こころのバリア　社会のなかにある心のカベのこと。しょうがいのある人への偏見、差別、そして無関心があります。

法律や制度が変わることで、バリアフリーが進むこともあります。しかし、なによりもしょうがいのある人に思いを寄せることが大切だと、私たちは考えています。

入　会　の　ご　案　内

会の目的に賛同していただける方は、ぜひ会員になってください。

１　年会費（４月から翌年３月までの１年間）

ア　個人会員・・・１口１０００円／年
（１８歳以下は５００円）

イ　団体会員・・・１口３０００円／年

ウ　賛助会員・・・１口　５００円／年

（活動への参加は難しいけれど応えんはしたいという方は賛助会員になってください。賛助会員は、総会での議決権がありません。）

２　入会申込書を下記住所に送付するか、会員に手渡ししてください。また、会費は、下記口座に振り込んでください。

銀行支店　三菱東京ＵＦＪ銀行小牧支店
口座番号　普通　５１７７０５０
口座名義　ここばりこまき

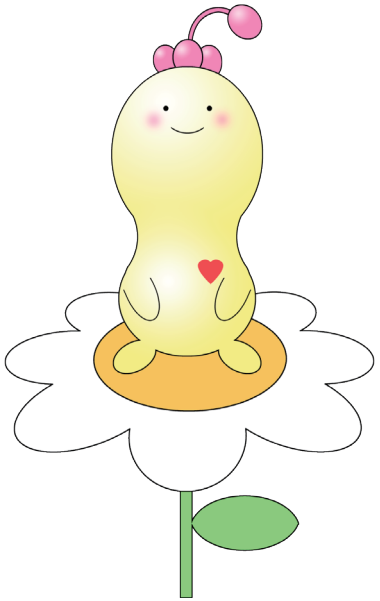
ここばりこまき
住所　〒485-0811　小牧市光ケ丘１－１
アクシス光ケ丘４－４０３
ファックス　０２０－４６２２－５７８３
電子メール　mail@kokobari-komaki.net
ホームページ　http://kokobari-komaki.net
ブログ　http://blog.kokobari-komaki.net

ファックスは、交換機を経由した回線など一部の回線からは送信できない場合もあります。

2010.2

ここばりこまき

ここばりこまきは、こころのバリアフリーをすすめる会です。ここばりこまきは、しょうがいのある人もない人も、住みよいまちづくりをすすめる活動をしています。



ここばりちゃん

ここばりこまきは、こころのバリアフリーをすすめる会です

私たちは、私たちのまちを、どうしたら暮らしやすいまちにできるのかということを、どうしたらしょうがいのある人が暮らしやすくなるかという視点から考えていきます。

しょうがいのある人の暮らしにくさは、社会に４つのバリア（かべ）があるからだと、いわれます。物理的なバリア、法令・制度的なバリア、文化・情報面のバリア、そしてこころのバリアです。

これらのバリアを取り除いた、しょうがいのある人にも暮らしやすいまちは、きっと、ちいさな子どもにも、妊婦さんにも、高齢の人にも、外国から来た人にも、そして、いまはなんのハンディもないよと思っている人にも、だれにとっても住みやすいまちになるのだと思っています。

こころのバリアについては、「偏見」、「差別」をなくそうという視点も必要ですが、まずは、しょうがいのこと、しょうがいのある人の気持ち、暮らしぶりを知り、しょうがいのある人の暮らしにくさに気づくことから始めたいと考えています。

そのために、ここばりこまきは、いろんな機会を提案していきます。

しょうがいのある人の気持ちや暮らしぶりを知ることで、気づくことは多いと思います。
無関心でいることがいちばんいけないことかなと考えて、このような活動をしています。

講演会や講座など多くの人に参加してもらえるイベントを開催しています。

しょうがいのある人といっしょにまちに出かけて、バリアフリーの勉強をしています。また、そのようすをビデオや写真に撮って、上映会をするなど、みなさんにも紹介しています。

ハイキングやおまつりなど、しょうがいのある人といっしょに過ごせる機会を作っています。

このような活動にあなたも参加しませんか？